

「第2回 瀬田川整備検討委員会」を開催

R4.10.26

～ 鹿跳溪谷における河川整備について意見を聴取～

琵琶湖河川事務所

優れた景観を形成している鹿跳溪谷について、景観、自然環境の保全や親水性の確保などに配慮した河川整備を実施するため、有識者で構成する瀬田川整備検討委員会を設置し、検討を進めています。

今回の委員会では、鹿跳溪谷の現状を踏まえた河川整備の基本的な考え方について説明を行い、琵琶湖計画高水位 (BSL+1.4m) の時に1,500m³/sの流下能力を確保する河床掘削範囲や現況河道の地形を活かした掘削形状について確認しました。また、景観、自然環境の保全及び親水性の確保に向けた配慮事項の考え方について説明し、意見や留意点を聴取しました。

今後、お伺いした意見や助言を踏まえ、検討を進めて参ります。

- 日 時：令和4年10月26日(水)10:30～12:00
- 場 所：滋賀県危機管理センター(1階)大会議室(対面web会議併用)
- 参加者：委員8名(学識経験者5名、行政3名)、参加機関(滋賀県、大津市)、事務局(琵琶湖河川事務所)
- 委員会資料：琵琶湖河川事務所ホームページ掲載(下記アドレス)
https://www.kkr.mlit.go.jp/biwako/rivers/setagawa_maintenance_review/index.html

【議事内容】

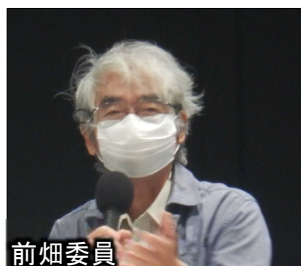
1. 第1回瀬田川整備検討委員会のご意見に対する説明
2. 鹿跳溪谷における河川整備の基本的な考え方について

第2回 瀬田川整備検討委員会



委員からの助言・意見

- ・ 土砂動態について、縦断的な通過土砂量の把握、今後の大戸川からの土砂供給の予測が重要である。
- ・ 河川の風景は、連続性が重要であり掘削後の水位と河原の位置関係、面的関係、瀬と淵などの変化を確認したい。
- ・ 米かし岩(甌穴)について、できるだけ残せるよう前向きに工夫して検討願いたい。
- ・ 注目種の選定(案)は、恒常的に確認される重要種、貴重種を選定するのが重要である。鹿跳溪谷で特徴的なハベカワニナを加えた方がよい。
- ・ 鹿跳溪谷の現状を共有する必要がある、カヌーやラフティングの利用状況を確認する場が必要である。
- ・ 掘削範囲での流れの落ち込みや白波、渦、逆流の発生など複雑で多様な流れが連続する区間は、保全・復元に配慮して頂きたい。



【問合せ先】 国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 調査課
〒520-2279 大津市黒津4-5-1 ☎077-546-0844 (代表)

